



降下訓練取材

埼玉地方協力本部（本部長 山下 一空佐）は、令和3年4月5日（月）千葉県習志野駐屯地において令和3年度全国空挺予備員降下訓練を取材した。

本取材は陸上自衛隊唯一の落下傘部隊である第一空挺団の訓練に密着しその魅力を対象者に伝える為に企画された。

生憎の天気で予定されていたCH-47JAからの降下訓練を残念ながら撮影出来なかったが、空挺団出身である埼玉地本朝霞地域事務所飛知和2曹より、実際に隊員が使用する地上降下訓練施設などの説明を受けた。

「訓練前日に当時の同期や先輩から多くの激励の言葉をいただき空挺隊員としての傘の絆を強く感じました。一人でも多くの方に空挺団の魅力を伝え、入隊に繋げることで部隊へ恩返ししたいと思います。」と飛知和2曹は熱く語った。

埼玉地本は、引き続き駐屯地での取材を通して、その歴史や隊員の生の声を届けることで自衛隊の魅力の発信に努めるとしている。

